

(様式1)

令和8年5月10日

富山県教育委員会教育長 殿

学 校 名 富山県立砺波高等学校
校 長 氏 名 辻 ゆかり

令和8年度学校経営計画を別紙(様式2・3)とともに提出します。

令和8年度 学校経営計画

1 学校教育目標

校訓 「道義為之根」 「質実剛健」 「自彊不息」 「進取而敢為」

- ア 将来、職業人として生きるために必要な、基礎・基本となる知識や技能を身につけた人材を育てる。
- イ 地域から信頼、期待され、地域の伝統・文化を理解し、継承できる人材を育てる。
- ウ 社会人として必要な、コミュニケーション能力や常識、規範意識を身につけた人材を育てる。
- エ 自然や社会の変化を捉え、他者に共感し、思いやれる感性を持った人材を育てる。

2 学校の特徴

- ア 国公立大学現役合格率70～80%を目標とするなど、進学校として地域の期待を担う学校
- イ 砺波地方の質実で剛直な気風と相通ずる精神を踏まえた豊かな感性、人間性、体力を育む学校
- ウ 人格の陶冶と進路目標の実現を旨とする教育活動を実践し、勉強も特別活動も全力で取り組む学校

3 学校の現状と課題

ア 現状

総じて本校生徒は素直で真面目であり、課題に対して着実に努力を積み重ねる粘り強さがある。また、探究的な学びの推進により、高い目標を掲げて挑戦する意識や、地域社会から学ぶ姿勢が大きく向上した。

今後は、これまでの成果をさらに深化させ、生徒が将来の生き方をより早期に具体化し、自律的に課題解決へ向かう「主体的な学び」を全教育活動で活性化させる必要がある。

イ 課題

(ア)主体的な学びの実現とキャリア教育の早期展開

- a 学習状況の把握に努め、基礎・基本の学力の定着を目指すとともに、自ら目標を定め、工夫して学力の向上に努めようとする自主性を育む。
- b 面接、教育相談の充実や、個別指導の強化に努めるとともに、生徒の進路意識の高揚を図る。
- c 教育相談・支援委員会を中心に、個々の生徒に応じた教育相談体制を強化し、早期対応と継続的な支援を行う。
- d 課題研究や様々な研修・実習を通して探究力、思考力を育てるとともに、学校行事、部活動等を通して行動力や協働力を培い、生徒の自己実現につながる達成感を育む。

(イ)教師力の向上

- a 分掌・学年等の組織を一層活性化し、チームワークの向上を図る。
- b 高大接続改革を見据え、探究活動と教科指導をリンクさせた授業研究や、ICT・デジタル教材を活用した指導力向上を図る。
- c 互見授業を日常化し、教員のチームワーク向上と評価方法の改善を通じて、生徒の思考力を高める指導を実践する。

(ウ)管理運営力の向上

- a クラウドサービスの活用による情報共有の円滑化、および校内ネットワーク・情報関連機器の整備を推進する。
- b 校舎や学校環境・情報関連機器、視聴覚・放送機器、教材の整備に努める。
- c 常に高い危機管理意識を持ち、問題の早期発見と適切な対応に努める。

(エ)PTA活動、同窓会活動の充実

- a 学校行事、PTA活動に工夫を加え、行事、活動への保護者のさらなる参加を促す。
- b 同窓会による教職員、生徒への支援の充実を図る。
- c 本校の様々な取り組みや成果について適切に発信する方法を検証する。

(オ)業務改善

- a 教育活動全般にわたり目的や実施手順、分担の見直しを行ったうえで、効果の検証に努める。
- b ダブルスワーク（業務の共同担当・分担）を推進し、教職員の負担軽減とリスク管理を徹底した上で、各業務の効果を検証する。